

オンラインセミナー<シリーズ 教育のイマ・ミライ>

日産財団は昨年より早稲田大学グローバルストラテジックリーダーシップ研究所と、将来社会のリーダーのための新しい教育について共同研究しています。デジタルトランスフォーメーション(DX)が社会の変革を加速し、教育にも大きな変革が求められる中、今年に入って、新型コロナがその変革を「今、解かなければならない課題」として私たちに突き付けました。

そこで、緊急企画として新時代教育の識者にお集まりいただき、視聴者として現場の先生や、学生、そして親御さんも交えて、オンラインで一緒に考えるシリーズ<教育のイマ・ミライ>を実施しました。

第一回 大学のイマ・ミライ 教育編 (7/21)

企画のスタートは、DXを迫られる大学の現在の教育状況を概観し、近未来の在り方を探るセッションとなりました。

オープニングは、本企画の発案者、早稲田大学の池上教授から、立ち遅れた日本経済と高等教育を未来志向で改革するチャンスとするための視点が示されました。次に、大学教員の能力開発を行う立場から改革に取り組む大阪大学の佐藤准教授が、Withコロナ時代の対面&オンライン融合教育「ハイフレックスモデル」について語りました。続いて、中高大学への経営コンサルティングを行う細江氏が、3倍速で進む社会に対応するために、DXが「選ばれる学校」の条件であると語りました。

視聴者は早稲田大学等、登壇者大学関係者、GRLPアルムナイ、教育系他財団、等に声がけし、登録数100名超、実視聴数70名超を数える大会議となり、オンラインQAも充実したものとなりました。



シリーズ発案者
早稲田大学 池上教授



ハイフレックスモデルを語る
大阪大学 佐藤准教授

第二回 学校のイマ・ミライ 多様な可能性編 (8/30)

いつもと違う夏休み(with コロナ)を過ごしている子供たちと親御さんに向けて、進路を考えて頂く企画としました。

この回は中高生対象のスタディサプリ人気カリスマ講師の伊藤賀一先生をパネリストに迎え、池上先生とのパネルトークで、「変化をチャンスととらえ、多様な可能性を知ることで未来は希望に満ちている」ことを、豊富な体験を交えて語りました。

今回新たにリクルート社のメルリスト(スタディサプリ生徒・保護者)にも参加者を募り、700名超の登録と300名超の参加をいただきました。司会のInstitute of Women`s Leadership 代表川嶋治子氏の司会で活発なオンライン討論となりました。

第三回 教育のイマミライ ミネルバ大学編 (9/24)

シリーズ第三弾は、ミネルバ大学の創設者 Ben Nelson氏をお招きし、池上先生を相手にミネルバの理念、教育の実態、日本への示唆、教育の未来を語っていただきました。

ミネルバ大学は、①固定キャンパスを持たず②7つの国際都市を巡り、③オンライン講義、④現地の企業や行政機関等と共同プロジェクトを通じて学習する、等の特徴を持ち、教育の未来モデルとして世界中から大きな注目を集めています。

Nelson氏はその理念を、「ミネルバの役割は研究にあらず、教育である」「ミネルバは教育におけるunmet needsの橋渡しをしているだけ」と、明快な言葉で説明しました。

200名超の視聴者が参加しての有意義なセッションとなりました。また、オンライン技術としては、初めての同時通訳を導入し、国際イベントもリモート開催できることを証明しました。



スタディサプリのカリスマ
伊藤賀一先生



I.W.L. 代表
川嶋治子氏



ミネルバ大学の創設者
Ben Nelson氏